

中之条ビエンナーレ
総合ディレクター
山重 徹夫 さん



中之条ビエンナーレはクリエイターが町に住んで町民と一体になって形作られています。その取り組みを総合ディレクターの山重さんに伺いました。

今 今回 3 回目となるビエンナーレですが、最初のきっかけは、私が中之条町でアトリエを借りて作品を制作し、発表しようと考えた事でした。アトリエの仲間と他の作家さんを大体 60 人くらい集めて多くの人に来てもらえるようにして始めたのが中之条ビエンナーレです。自分たちの舞台を自分たちで作るということです。第 2 回は 100 名以上の作家が日本全国から応募してきて地域の人たちとも一緒にこのイベントを作っていました。

普 通、作家さんは美術大学を出ると、ギャラリーや美術館にお金を払い、作品を発表しますが、それは与えられた場所であり、地域や社会との繋がりがなかなか出来にくいものです。作家さんが自分でこの地域に来て、この場所が格好いいと思った所で自分の作品を展示する。120 ~ 130 人の作家さんが滞在して、地域との繋がりを持って、ここでの展示に挑みます。自分の作品と社会との関わり方を知ることができるのです。そしてたくさんの著名な方々も見に来てくださるので、かなりの収穫があると思います。作家さんにとっては都会のギャラリーで行うよりも収穫が多いのです。

一番大切なのは地域とのつながりです。大道地区などは、普通だと一日に数台しか車が通らないような場所ですが、第 1 回目から作家さんが作品を展示しており、作品を見に来たお客さんは「この景色は最高だ」「とってもいいところだ」と言っていました。その言葉が、地元の方には非常に嬉しかったようで、囲炉裏を作ってくれたり、作家さんやお客さんにおやきや川

魚の塩焼きを出してくれたりと凄くもてなしてくれました。今では渋滞が起こることもあります。最初はなかなか難しかったですが、こうして地域づくりが上手くいっています。

美 術作品というのは場所性が非常に大事です。その場所で昔から何が行われてきたのかどんな文化があったのかを、見える形にすることです。養蚕だったら養蚕に、酒造だったら酒造に因んだ作品。その場その場で作家さんはいろいろな物を掘り起こします。見えなくなったものを作品としてお客さんに見せるということをしています。都会ではできない、ここでしかできないものを一番大切に展示しているのです。僕らがやっているのは、作家さんが自由に表現できる舞台を提供し、地域の方が活躍できるための舞台を作るということです。

群 馬は東京が近いので人が流出して、自分のふるさとはなかなか戻ってきません。しかし、自分のふるさとに活動する舞台があればきっと戻ってきて、地域づくりの主役になってくれると思います。Tsumuji のスタッフにもいったん都会に出て再び地元に戻ってきた人が何人かいます。Tsumuji で売っている商品も大量生産でなく、町民が作ったものを提供する舞台です。ものづくりを通して地域づくりをしています。

町 長はじめ中之条町では、よそから来た僕らの意図をくんで、活動させてくれています。町に支えられ、作家さんや地域の方はやりたい事を、中之条ビエンナーレのつむじ風として広げていく。この逆ピラミット構造は、単なるイベントではなく、一人一人が活躍する舞台づくりなんだということです。Tsumuji を軸とし、ビエンナーレを通して、ものづくりを通して、中之条町の地域づくりを進めていきたいと思っています。

地域の資源を活かした作品の数々。そのを一部ご紹介します



中之条町の蜜蝋を分厚く重ねて、削って、また重ねて。ほとんど彫刻に近い平面作品。旧廣盛酒造にて



中之条町長も一緒に視察に回られ、参加者の質問にも気さくに答えていただきました。旧廣盛酒造にて



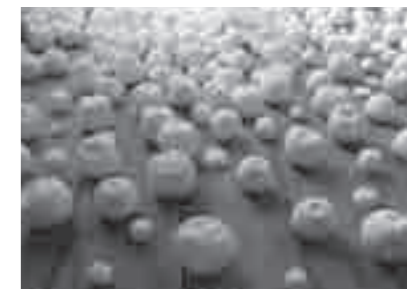
六合地区にも同作家さんの作品を展示。展示したい作品が複数ある時には、全て展示するように勤めるそう。中田木材にて



直接、作家さん本人に説明していただく場面も。地元の子供たちや来場者と完成させていく作品。キリンホールにて



地元の若者がボランティアで受け付けをしていました。大道公民館にて



町のリンゴ園に滞在して、そこで拾ったリンゴを一日ひとつづつ型を取って石膏に固めていく。大道公民館にて



普段使っている農業用ハウスも作家さんの手によってアート作品に。旧五反田小学校にて



電気の通っていない重要文化財の富沢家住宅の暗闇を利用して、浮かび上がる宇宙。富沢家住宅にて



教室に吹く風が空間全体を共鳴して楽器になり完成する作品。見えないがそこにある資源。旧第三小学校にて



拾い集めたゴミで時間を表現。大量生産に問いかける。津波でさらわれた風景そのものと言う人も。旧五反田小学校にて



穴を掘っているときに燃えた木材が出てきたのが、過去に壊した学校でした。旧大岩第四分校にて



大自然の風景も作品の一つ